

府中市立国府小学校の取組

【国府小学校の取組の成果】

表1 平成23年度「基礎・基本」定着状況調査国語科通過率 (%)

	本校通過率	県平均通過率	県平均比較
国語全体	91.0	78.5	+12.5
読むこと	87.9	77.3	+10.6
(物語文)	87.0	75.8	+11.2
(説明文)	88.7	78.7	+10.0
書くこと	99.4	87.9	+11.5

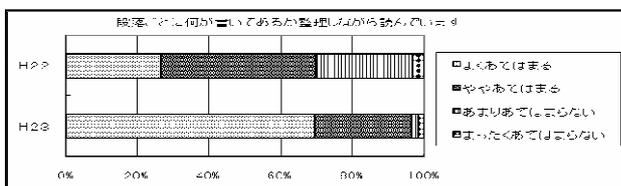
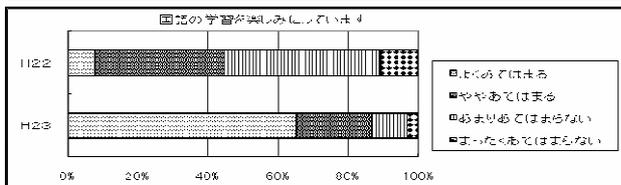


図1 国語科におけるアンケート調査の推移

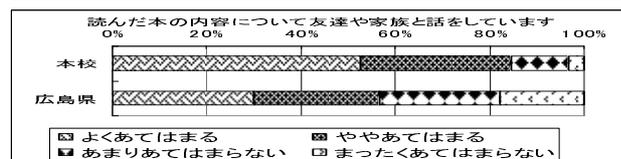
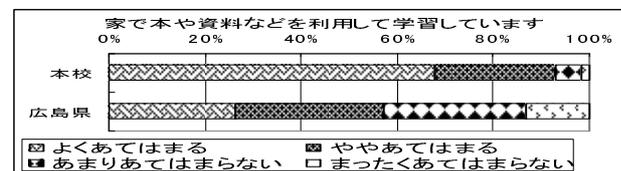
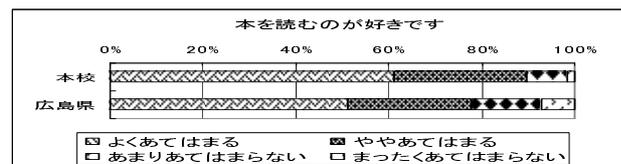


図2 平成23年度「基礎・基本」定着状況調査児童質問紙結果より

【成果と課題】

- 教材文の一部分を意図的に隠すなど、教材に仕掛けをつくる手立てを用いて、「書く活動」を行うことで、児童に文章の構成を読み取る力や内容を正確に読み取る力が身に付いてきている。
- 読書活動と関連をさせた言語活動を位置付けることにより、児童の読書意欲を高めることができた。
- 児童に読む必然性をつくるための「単元を貫く言語活動」を設定する。また、単元で培った力を活用させるような言語活動を設定する必要がある。

【取組の概要】

- ① 読みを向上させるための教材開発
 - ・ 説明文、物語文指導の基本モデルの作成
 - ・ スモールステップを踏んだ教材開発
- ② 意図的な「書く活動」の設定
 - ・ 付けたい力の明確化
 - ・ 教材への仕掛けづくり
 - ・ 言語活動の充実
- ③ 「言語技術」の活用
 - ・ 帯タイム（ことばの時間）の活用
 - ・ 全校ことばの朝会
 - ・ 言語技術を活用できる生活場面の設定
- ④ 読書活動の充実

※ 【取組の概要】のうち、②・④について、具体的取組を次に示す。

【具体的取組Ⅰ】

意図的な「書く活動」の設定(物語文実践事例)

〈学年・教科等名〉

第3学年 国語科 (物語文)

〈単元の紹介〉

- ① 単元名
「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書3年下)
～物語の感想をまとめよう～
- ② 単元の目標
 - ・ 場面の移り変わりに注意しながら、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読むことができる。
 - ・ 細かい点に注意しながら読み、場面をまとめたり、文を引用したりして感想を書くことができる。

授業改善のポイント(指導方法の工夫)

- 戦争をテーマとした絵本などの読み聞かせを行い、「戦争」時代の実態を感じさせ、イメージをもたせる。
- 内容を読み深めるに当たって、「現実の家族で幸せなかげおくり」と「幻覚のひとりぼっちのかげおくり」の2つのかげおくりを対比させていくことによって、人物の変容をとらえさせる。
- 場面の移り変わりに注意し、それぞれの場面の様子を想像しながら読み、感想をもたせる。感想が、どの文章のどの叙述に基づいているのかを明確にしながらか感想文を書かせる。
※ 言語活動として、手紙や日記を書く活動を取り入れることで、登場人物や中心人物の気持ちに寄り添ったり、共感したりすることができた。
- 単元の学習と並行して、戦争に関する本に興味をもたせ、読書活動を充実させていく。

具体的取組Ⅱ

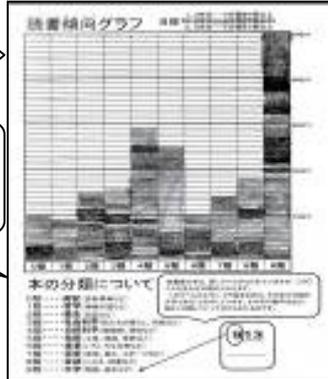
読書活動の充実

(1) 読書記録カードの活用

- 本を「たくさん読む」「よりよく読む」ために、全校で読書カードを活用する。
- 個人の読書記録を残し、グラフ化する。
→児童の意欲の向上
- 分類ごとにグラフに色をぬる。
→自分の読書傾向の把握
→様々なジャンルの本をバランスよく読む。

読書傾向グラフ

目標
低学年…3分類を5冊以上
中学年…4分類を5冊以上
高学年…5分類を5冊以上



(2) 「子ども司書養成講座」(広島県教育委員会主催) 受講児童の活動

- 読書活動の推進リーダーの育成
- 学校や地域で読書の楽しさや大切さを広める
- 児童の読書活動の充実
- 言語活動の充実により学力向上を図る
- ※ 「子ども司書養成講座」今年度3名受講

① 活動計画

- 府中市立図書館での研修
- 学校での活動
 - ・朝会や教室での読み聞かせ
 - ・校内読書まつりでの読み聞かせ
 - ・学校図書館での活動



低学年の教室での読み聞かせ

② 昨年度「子ども司書養成講座」を終えた児童の感想

本は自分を育ててくれるだけではなく、本を通して人と人をつないでいくことができることを実感しました。

特に国語学習「平和のとりでを築く」と合わせて、学級で「平和」をテーマにした本を紹介したら、みんなたくさん読んでくれて、学習がとて深まり、国語の学習がもっと楽しくなりました。本がクラスの絆も深めてくれた気がして幸せでした。

『本に出会うことは、自分自身に出会うこと』

(3) 各種コンクール等への積極的な参加

- 「読む力」→「考える力」「書く力」との関連
- 積極的な作品応募→児童の表現力を高める
児童に自信をつけさせる

○ ことばの輝きコンクール(広島県教育委員会)

H21年度入賞	計	H22年度入賞	計
最優秀(1)	2	最優秀(1)	3
優秀(1)		優秀(2)	

(平成23年度については現在未発表)

○ 棕鳩十読書感想文(棕鳩十記念館)

H22年度入賞	計	H23年度入賞	計
学校賞	8	学校賞	13
優秀賞(1)		最優秀賞(1)	
特選(2)		優秀賞(3)	
入選(4)		特選(4) 入選(4)	

○ 全国青少年読書感想文コンクール(毎日新聞社)

H21年度入賞	計	H22年度入賞	計
特別賞(2)	11	特別賞(1)	11
入選(9)		入選(10)	

(平成23年度については現在未発表)

(4) 学校、家庭、地域との連携による読書活動の充実

① 校内読書まつり

子ども司書の児童、地域の読書ボランティア「おはなしクレヨン」、教師による校内読書まつり



教師によるブックトーク「むかしばなし」



おはなしクレヨンの劇「ブレーメンの音楽隊」

② 読書ボランティア「おはなしクレヨン」の活動

- 週一回の朝読書の時間における本の読み聞かせ
- 月一回の昼休憩のお話ライブ
- 児童実態にあった本の読み聞かせ、ブックトーク、本の紹介→児童と本との出会いの場づくり

③ 保護者(PTA)の活動

- PTA主催の読書まつりの開催(11月)
- 地域ボランティア、教師の参加
- ブラックシアター、大型絵本、大型紙芝居、パネルシアターなど

最も身近な大人である保護者が読書活動について理解と関心を持つことによって、児童はよりよい読書習慣を身に付けることにつながる。



大型絵本「空飛ぶテーブル」